

G U R E N S A N R A N



紅蓮

燦爛

紅

蓮

燦

爛

R-18  
成人指定





PILGRIM

紅蓮



強くなるために日々鍛錬を重ねる紅蓮は

あまりにも魅力的で——  
手の届かない存在のように思えた



そんな彼女が……





指揮官



指揮官…私に  
教えてくれない  
だろうか

この前



頼みがある

この本に  
書いてあること……  
理解できなかった

ラプンツェルが紅蓮に  
もう一冊の本を渡した

"肉体を高める" 内容らしいが  
紅蓮はすっかり  
夢中になっていた



しかし…

失礼…

こんな事を  
教えて欲しいなんて…

あまりにも  
無謀すぎるような…

ほ…本当に  
これで良いのか？

こんな事

無理に  
試さなくても…

女子力

!!

紅…  
紅蓮…？

あの生真面目な紅蓮が…  
俺のチンポを

こんな顔で  
啜えてるなんて…

この締め具合で  
問題ないか？

ああ…  
ああ…

うっ  
うんっ…

うっ

マズい！  
このままじゃ—

いつの間に  
こんな技を  
覚えたんだよ…

根元までしつかり  
啜え込むなんて…



紅蓮  
君：何かあったのか？

何が問題だ？

修行の一環だと  
言ってるだろう

普段はあんなに  
凛々しい紅蓮が

まるで…

性に目覚めた  
少女みたいだ

続き

やりたくないか？

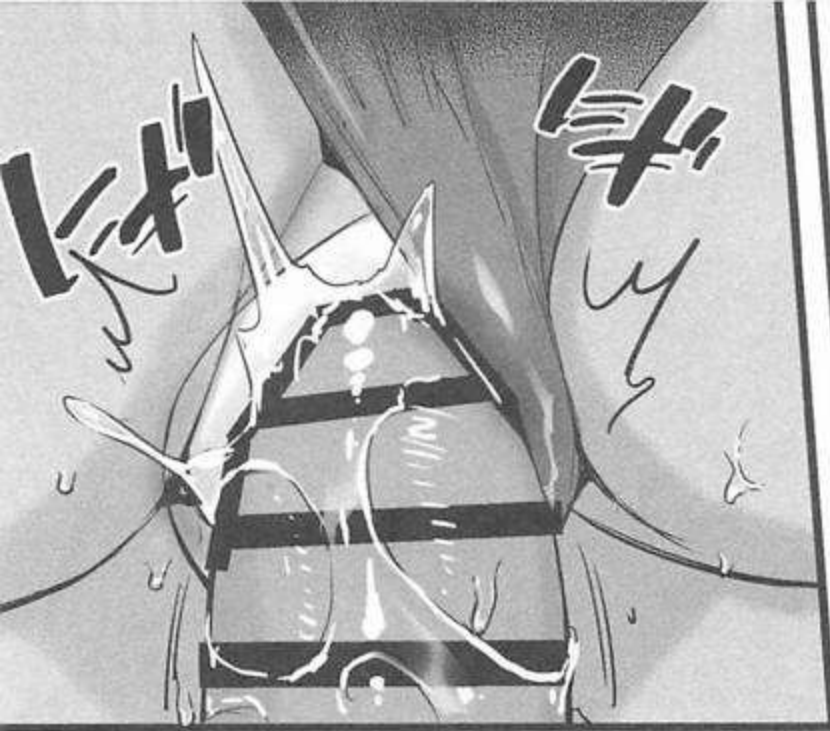
か…  
かわいいすぎる

いや

そんなことは

『ふんっ』

『ふんっ』  
『ふんっ』





くそっ…  
少しは理性を保つ  
つもりだったのに

でも…  
もう…!!

指揮官  
いききたいなら  
いつでも…っ  
射精してどうぞ!

な…

そのまま

紅蓮のマンコを

白い子種汁を

ぶちまけてください

紅蓮…!!

中に…っ  
出すよ!!





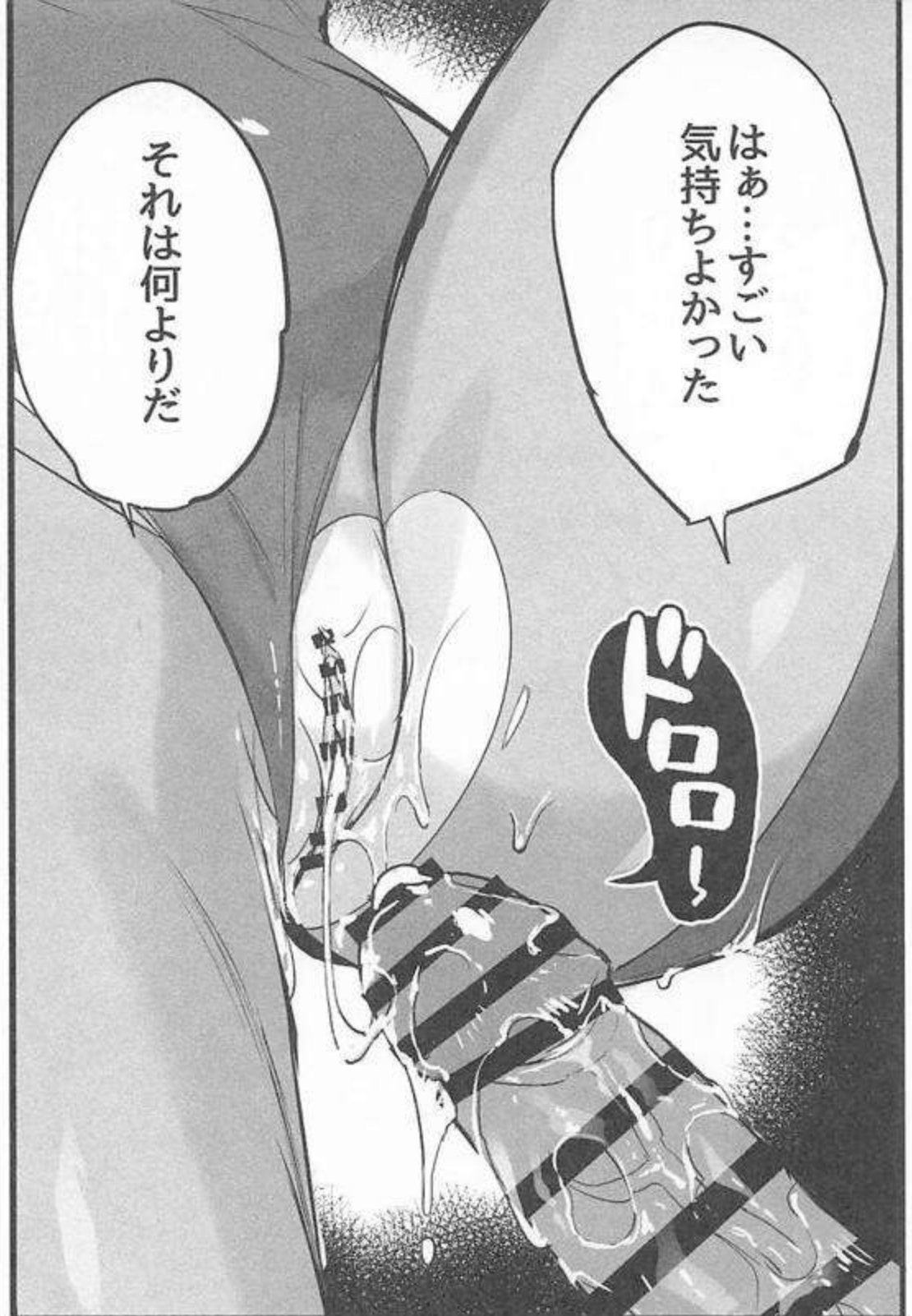
これで私も…

もっと強いニケに  
なれたはずだ



えっ…それは…

指揮官も…  
こんなにも優れた性技を  
持つわたしの虜に  
なっただろう？



はあ…すごい  
気持ちよかった

それは何よりだ



ずっと疑問だった！  
なんで紅蓮が  
自分からこんなことを  
したいなんて求めてきたのか

でも—  
男女の関係って  
本来はもっと慎重に…

ちゃんと想い合ってから  
するもんだって  
知らなかったんだろう

それなのに  
自分の初めてを…  
こんなふうに  
俺に託してくるなんて…



…そういうことか



紅蓮のお願いに  
夢中になってた俺にも  
きつと落ち度はある  
でも…これって  
紅蓮が俺のこと…

変な期待を  
させないでくれよ

指揮官

もう少し  
付き合ってくれるか？

夜はまだ長いぞ――

むにゅ

ドク  
ドク

ああ……まったく  
この女は……

もう  
何があっても知らんぞ

ここからはもう  
手加減しないからな

……





強い二ヶになるって  
それもまた  
誰のためなんだ？

……

こんなことに意外と  
まわりくどいんだな

まさかつ  
紅蓮にもあんな  
可愛い一面があるなんて……

汝……  
何が言っておるのか  
わからん

ふふっ……  
俺もほんとバカだ

れだけ暗示してたのに  
今さら気づくなんてね

あ

毛  
毛

汝：変な言葉でっ  
気を…っ  
散らそうというのか？

ドキ

びるん

そんなっ…  
小賢しいまねを…

びるん

わたしは今  
汝のチンポを…っ  
ぎゅっと締め上げて

ゆる…

完全に  
主導権を握っているのだ

あん♡♡

ほんとに可愛いよ！紅蓮  
もっと素直に気持ち  
伝えてくれればいいのに…

ドキ

だからっ  
これは…修行の…っ

もみ  
もみ

ぐわん

俺に構ってほしくて  
わざわざこんな"修行"  
までしたなんて……

そっ  
そんなわけないだろう!?  
指揮官ごときに……っ

その気持ち  
ようやく分かったよ

わたしが気を  
引こうなんて

おこねと出せー

その白くて  
濃いヤツ  
を……っ!

ブラスツ



ほら  
隙だらけだ…

今まで我慢してた分  
たっぷり可愛がつて  
やるからな

だ…だから…  
これは…

ただの修行…  
であって…っ！

まだそんなこと  
言ってるのか？

—よし  
それなら今日は  
「種付け修行」だ！

たっぷりとな！







逃げんのか?

素直じゃないな

マンコも  
顔も...

とつくと  
トロトロの癖に

誰が...  
逃げるなどっ...

雌の悦びで...

なら...  
トドメを刺すぞ

完敗しろ!





すごい……っ  
こんなに  
大量の精子が……っ







不思議なことだ  
これが、恋ってやつなのか

ニケなのに……  
胸がふわっと軽くなるなんて



今回は汝に譲ってやろう  
だが、次は必ず取り返すぞ

あれからも  
紅蓮の「修行」は  
毎晩つづいている――

指揮官

もちろん  
指揮官と一緒に。



# あとがき

お買い上げありがとうございます

いつもお世話になっております、全白です。

前回と同じ、紅蓮の薄い本でしたが  
「思考転換」前の設定で色々と苦戦しました

それでも、最後までなんとか描ききれて  
すごく満足しています

皆さまのおかげで  
この素敵な作品を仕上げることができました  
本当にありがとうございます！

今後とも見守っていただけたら嬉しいです。



## おくづけ

イベント：C106

発行日：2025.08.16

発行者：全白

サークル：蒼き星

twitter(X): <https://twitter.com/Aokihoshi>

pixiv: <https://www.pixiv.net/users/11067101>

印刷：SUNGROUP



Twitter @Aokihoshi

蒼き星

G U R E N S A N R A N

紅蓮

爆燃

